

## 【コミュニケーションの特徴の違いを認識しよう】

### 1. コミュニケーションの特徴の違いを明確にする

会話をすることも技術文書を書くこともコミュニケーションです<sup>注)</sup>。しかし、これらのコミュニケーションにはその特徴に違いがあります。これを明確にすることで内容が明確に伝わる技術文書を書く必要性がわかります。

注)：「技術文書とはコミュニケーションの手段」の資料を参考のこと

### 2. 会話を通じたコミュニケーションの特徴

会話を通じたコミュニケーションの特徴は、その場で内容が確認できることです。会話を通じたコミュニケーションでは話し手と聞き手が対面で会話をするので、会話の中でわからないことがあればその場でその内容が確認できます。その場でその内容が確認できることは電話での会話の場合も同じです。

### 3. 技術文書を通じたコミュニケーションの特徴

技術文書を通じたコミュニケーションの特徴は、その場で内容が確認できる場合とできない場合があることです。書き手と読み手が対面している場合と対面していない場合があるからです。

例えば、会議の場合、その資料（技術文書）の中でわからないことがあったときにはその場でその内容が確認できます。書き手と読み手が対面しているからです。

これに対して、例えば、仕事の関係者から送られてきたメールの中でわかりにくい内容があってもその場でその内容が確認できません。書き手と読み手が対面していないからです。内容を確認するためのメールを送ったり電話で内容を確認したりする必要があります。これらは無駄な時間です。また、メールの内容を間違っ理解したまま仕事を続けた結果仕事の手戻りが起こるかもしれません。

### 4. 技術文書を通じたコミュニケーションで必要なこと

技術文書を通じたコミュニケーションで必要なこととは、内容が明確に伝わる技術文書を書くことです。書き手と読み手が対面していない場合があるからです。内容が明確に伝わる技術文書を書けば内容の確認のための無駄な時間が発生しません。また、内容を間違っ理解したことによる仕事の手戻りも防げます。

無駄な時間を無くし、仕事を確実に進めるためにも内容が明確に伝わる技術文書を書く必要があります。

以 上